

購読の申し込みは
日本医労連へ
購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

1865号・1866号合併号
2026年1月1日
編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日
(昭和36年9月15日第三種郵便物認可)

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

いのち・暮らしが最優先 私たちの要求は国民の要求



日本医療労働組合連合会
中央執行委員長
佐々木 悦子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
深刻な人手不足による厳しい働き方が続くなかでも、地域医療・介護を守るため、労働者の生活と権利を守るため、昼夜を分かたず奮闘されている皆さんに心から敬意を表します。
さて、ストライキを背景にたたかった産別統一闘争や宣伝行動など、私たちのあらゆる運動により、医療・介護現場の実態と、そこで奮闘する労働者の低賃金や過酷な労働実態が世論となりました。それが政府をも動かし、2025年度補正予算には、「医療・介護等支援パッケージ」が盛り込まれることとなりました。私たちは求め水準には及ばないものの、間違いなく私たちの運動によって実現したものです。私たちのこれまでの運動に確信を持ち、働き続けられる賃金、国民のいのちと暮らしを守るという責任と役割に相応

しい賃金を実現するために「月額平均5万円以上」「時給額300円以上」の賃上げ要求をかけた、26春闘にむけ準備をすすめています。そもそも労働者がいなければ医療も介護も成り立ちません。働き方に見合った賃金を要求することは、労働者として当然です。「病院がつぶれたら元も子もない」という経営側の呪いの言葉に惑わされることなく、産別統一ストライキを構え、26春闘大いに奮闘しましょう。
深刻な人手不足により、多くの医療・介護労働者が厳しい働き方を余儀なくされています。患者・利用者に安全・安心の医療・介護を提供するため、自らを犠牲にしながら奮闘していますが、心身ともに疲れ果て、職場を去る仲間も少なくありません。医療・介護を守るためには、大幅賃上げとともに、労働者がやりがいを持って健康に働き続

けられる労働環境への改善も喫緊の課題です。しかし、財務省の諮問機関である財政制度等審議会がまとめた「秋の建議」では、「医療・介護の必要から従事者は全産業の中で増加しているが、労働生産性は、ほとんど成長していない」とし、「手厚い人員配置がインセンティブ付けされていることは、できるだけ少ない人手で質の高い医療を提供しようとする努力を阻害している」とまで言っています。
しかし、安全・安心の医療・介護を提供するためにも、手厚い人員配置と労働環境の改善は譲れない要求です。日本医労連は、2025年7月から「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」に取り組んでいます。

1992年に私たちの運動で「看護師確保法・基本指針」を制定させたことに確信を持ち、この2年で「夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める国会請願署名」を大きく積み上げ、すべてのケア労働者の大幅増員と配置基準の見直し、医療・介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境の改善を実現しましょう。そのためにも、労働者自身が、署名を積みあげることに確信を持てるかが鍵になります。日本医労連作成の動画など学習資料を活用し、多くの労働者に学習を広げましょう。

政府が、補正予算で「医療・介護等支援パッケージ」に5341億円を投入した一方、防衛費には、その1.5倍以上の8472億円を投入しています。補正予算は、「特に緊急的に必要となつた経費」に限ると定め、当初予算では対処できない事態が急に起きた場合に編成されるものですが、防衛費に医療・介護への支援の1.5倍もの予算をつけるほどの緊急事態となっているのでしょうか。その内訳をみると緊急性はまったくなく、米国の要求に応じた「防衛費をGDP比2%目標達成」が目的の「金額ありき」となっています。

私たちの要求は、国民の要求でもあります。その実現のためにはともに声をあげ、行動する仲間を一人でも多く増やすことが必要です。制度・政策に大きな影響を与え、医療・介護・福祉の充実・強化を実現するためにも、920万人を超えるすべての医療・介護・福祉労働者を視野に、早期の17万人組織の回復と20万医労連をめざし、2026年も一緒に奮闘しましょう。

国民のいのちも暮らしもミサイルや戦闘機では守れません。平和であつてこそ守られます。いのちと暮らしを守る私たち医療・介護労働者こそ「軍拡ではなく国民のいのち・暮らし第一の政治を」の声を大きくあげていきましょう。

国民のいのちも暮らしもミサイルや戦闘機では守れません。平和であつてこそ守られます。いのちと暮らしを守る私たち医療・介護労働者こそ「軍拡ではなく国民のいのち・暮らし第一の政治を」の声を大きくあげていきましょう。

合併号のため、「脈路」はお休みします

介護がしたい！
2026年
**介護要求実現！
全国学習交流集会**
2.15(日)13:00→16(月)12:00
兵庫県・姫路キャッスルグランヴィリオ
公益社団法人 認知症の人と家族の会
代表理事 和田 誠さん
全日程 22,000円/集会+夕食交流会 12,000円/集会のみ 3,000円
※全日程には「1泊朝食付シングル宿泊」「夕食交流会」が含まれます
日本医労連介護対策委員会事務局

2025年度春
看護要求実現全国交流集会
2026年2月25日(水)14:00~26日(木)12:00
記念講演: 松元 俊氏(労働安全衛生総合研究所主任研究員)
これまでの夜勤実態調査の結果を踏まえながら、夜勤の有害性や夜勤改善の必要性についてお話いただきます
基調報告・分散发
会場: 兵庫県・姫路キャッスルグランヴィリオホテル
参加費:
①全日程参加(1泊朝食付+夕食交流会込み) 22,000円
②集会と交流会参加(宿泊なし+夕食交流会込み) 12,000円
③集会のみ参加(宿泊なし+夕食交流会なし) 6,000円
④オンライン参加(全体会のみ) 無料
日本医療労働組合連合会
TEL:03-3875-5871 MAIL kango@irouren.or.jp

すべての争議の早期解決を



26春闘討論集会の分散会と並行し「第48回争議対策会議」が開催されました。会議で相互に意見・教訓を交流しました。

会議には2全国組合5県医労連から13人が参加しました。各争議の概要報告のち、終結・終了・係争中の事件について交流しました。

今年度は5事件が解決しましたが、法人の不誠実な姿勢が変わらないといったケースが報告されました。和解した組織からは「諦めなかつた事、最後は主張したものが勝つ」と教訓と激励が報告されました。

係争中の事件については、解雇・雇止め3件、不当労働行為5件、損害賠償2件が報告され、事件毎に

26春闘 待たない! 今こそ大幅賃上げ



開会あいさつで佐々木悦子中央執行委員長は、医療・介護現場で続く深刻な人手不足と低賃金の実態にふれ、「現場の崩壊を食い止めるには、今こそ大幅な賃上げと抜本的な労働環境改善を実現させることが必要だ」と強調しました。

国の方針が社会保障費抑制へ傾くなか、「このままでは医療・介護を支える労働者が働き続けられない。国の責任を明確にし、現場の声を政策に反映させる運動を前進させよう」と訴えました。

また、「要求を掲げ、声をあげ、仲間を広げることが情勢を動かす確かな力になる。春闘は労働者の未来を切りひ

26春闘討論集会の分散会と並行し「第48回争議対策会議」が開催されました。会議で相互に意見・教訓を交流しました。

状況进行交流しました。たまたかうなかで時には仲間の裏切りや司法判断への不信、また組合への圧力などの厳しい実態も報告されました。一方で裁判をたたかうなかで、組合の成果や誠実にたたかう組合の姿勢が可視化され、仲間が増えた成果も報告されました。

今後全ての争議の早期解決にむけて、「一人の仲間への攻撃も産別の力で守り抜く」立場で、仲間との連帯を強めながらたたかいをすすめることが共有された会議となりました。

- 係争中の組合――
- ▼全医労・全医労武蔵支部 (不当労働行為) ▼国共病組・国共病組名城支部 (損害賠償) ▼北海道・恵和会労働組合 (損害賠償) ▼東京・厚生荘病院労働組合 (不当労働行為) ▼千葉・千歳会労働組合 (不当労働行為) ▼千葉医療福祉労働組合 (不当労働行為) ▼神奈川・神奈川医療労働組合 (不当労働行為) ▼愛知・名古屋市立大学教職員組合 (解雇・雇止め) ▼あまてだ労働組合 (不当労働行為・解雇) ▼兵庫・あさひ病院労働組合 (不当労働行為・解雇・雇止め)

26春闘・日本医労連の賃金要求

【賃金要求概要】	月額平均	時給 (誰でも)		
	50,000円以上	300円以上		
【企業内最低賃金要求概要】	月額	日額	時間額	
看護部	330,000円以上	17,600円以上	2,200円以上	
産でも	270,000円以上	14,400円以上	1,800円以上	
【年代別ポイント賃金要求概要】	初任給	35歳	50歳	59歳
看護部	330,000円以上	410,000円以上	480,000円以上	520,000円以上
介護福祉士	300,000円以上	390,000円以上	470,000円以上	510,000円以上
産でも	270,000円以上	380,000円以上	460,000円以上	500,000円以上

春闘構想

26春闘構想は、米沢哲書記長が提案しました。

医療・介護現場では、慢性的な人手不足と長時間・過重労働が深刻化し、低賃金を背景に離職が相次ぎ、病床休止やサービス縮小に追い込まれる職場も少なくない指摘。こうした悪循環を断ち切るため、「ケア労働者の賃上げは待たない。働き続けられる賃金水準を実現しよう」と訴えました。

25春闘では47都道府県でストライキが行われ、マスコミ報道を通じて医療・介護現場の実態が社会に可視化されたと振り返り、国会でも与野党を問わず処遇改善が取り上げられ、運動の積み重ねによって骨太方針2025に「医療・福祉分野の処遇改善」「業務負担軽減」が明記されるなど、政治を動かし始めています。

26春闘も月平均5万円

医療・介護現場では、慢性的な人手不足と長時間・過重労働が深刻化し、低賃金を背景に離職が相次ぎ、病床休止やサービス縮小に追い込まれる職場も少なくない指摘。こうした悪循環を断ち切るため、「ケア労働者の賃上げは待たない。働き続けられる賃金水準を実現しよう」と訴えました。

25春闘では47都道府県でストライキが行われ、マスコミ報道を通じて医療・介護現場の実態が社会に可視化されたと振り返り、国会でも与野党を問わず処遇改善が取り上げられ、運動の積み重ねによって骨太方針2025に「医療・福祉分野の処遇改善」「業務負担軽減」が明記されるなど、政治を動かし始めています。

外とつながる味方を増やす

26春闘の賃上げを産別に結集してたたかうために

子恵三 名譽教授

竹信三 和光 譽教授

分散会

米沢書記長の26春闘の提案を受けた後、10のグループに分かれ討論を行いました。各分散会では職場の現状や課題、賃上げのための具体的な取り組みが報告されました。全体会での発表では、仲間づくりと大幅賃上げを実現するための具体的な実践法や、KJ法を用いた議論対話や学習、宣伝活動の強化について発表されました。また、賃上げ闘争においてはストライキの構えが不可欠であり、組合員の意識統一の重要性が強調されました。

集会の最後に米沢書記長のまとめと閉会の挨拶を行い、佐々木委員長の団結パンバロウで散会しました。

社会を味方に

いま日本のケア労働は、社会の基盤そのものが揺らぐほど深刻な危機にあります。ケア労働は人々の暮らしを支え、社会全体を動かす土台ですが、その重要性に反して現場は長年置き去りにされ続けてきました。ここが崩れれば、日本の働き手は安心して働き続けることができず、

この危機をケア現場の内側だけに閉じ込めず、社会の外へ伝え、理解と共感を広げ、味方を増やしていくことが欠かせないと私は考えています。

問題の根底を見る

問題の根底には、日本の働き方と税・財政政策の大きなゆがみがあります。非正規雇用は4割を超え、働く人には重い社会保障料や消費税がのしかかる一方で、企業の内部留保だけは膨らみ続けています。この構造のまま消費税減税だけを唱えて

も、結局は社会保障が削られ、家計はいっそう苦しくなります。本当に必要なのは、どこから税を取り、何に使うのかという財源の組み替えであり、法人税や富裕層課税の見直しなしに社会保障の再生はあり得ません。さらに、男性賃金を基準とした仕組みのもとで、女性が多いケア労働が低く評価されてきたことも、危機を深める大きな要因です。ケアの賃金が低いのは仕事から軽いからでも能力が低いからでもなく、社会が女性の仕事を安く扱ってきた結果です。防衛費の急拡大によって生活やケアが後回しにされてはなりません。

いまこそ医療・介護現場の枠を超えて市民や他分野とつながり、声を束ね、賃上げと処遇改善を社会全体の課題として押し上げるべきです。ケア労働を守り、未来の土台を立て直すために、ともに行動を広げていくことを強く呼びかけます。

(講演録は月刊「医療労働」2月号に掲載予定)。

も、結局は社会保障が削られ、家計はいっそう苦しくなります。本当に必要なのは、どこから税を取り、何に使うのかという財源の組み替えであり、法人税や富裕層課税の見直しなしに社会保障の再生はあり得ません。さらに、男性賃金を基準とした仕組みのもとで、女性が多いケア労働が低く評価されてきたことも、危機を深める大きな要因です。ケアの賃金が低いのは仕事から軽いからでも能力が低いからでもなく、社会が女性の仕事を安く扱ってきた結果です。防衛費の急拡大によって生活やケアが後回しにされてはなりません。

うま年クロスワード

【問題】二重ワクの7文字を、A~Gの順に並べてできる言葉はなに? 【出題/モロズミ勝】

1 元日に食べます

3 今年は何通届くかな?

7 新年のあいさつ

11 ……テール。……ベッド

12 不安を静めます。ヒーリング

14 ……業は日本の基幹産業

15 吐き出す息

16 毛の色がまだらな……猫

18 相撲の行司が持っています

20 古代マヤ文明が繁栄した国

22 正月の松飾りがある期間

24 素人が集まってする……野球

25 昔、年20日働いて暮らせた人

27 徹夜とも言います

29 つり道具の一つ

30 パリは東京の……友好都市

31 何かを求める気持ち

33 シダやコケのように、花や種がなく胞子でふえる植物

35 大黒天が持つ……出の小づち

36 心配。懸念

38 町はずれ、……の酒場

40 スケート場のこと

41 飛行機にも持ち込める刃物

42 源義経の幼名

8 有……。……誓。……声

9 新年に消防士が行う行事

10 ……講習。……五輪

13 ……画。……絵の具

15 チョコレートの仲間

17 I Q。……が高い

19 ペリー来航〜戊辰戦争の期間

21 一年の1番目の月

22 機械。ピッチング……

23 歌麿・写楽・北斎・広重など

26 Kで表す部屋

28 人並みはずれた強い力

30 おおやけのものを私すること

32 ……合戦。……女。……だるま

34 河馬、なんと読む?

37 ……虫。……節

39 古名は「たづ」です

ヨコのカキ

- 1 元日に食べます
- 3 今年は何通届くかな?
- 7 新年のあいさつ
- 11 ……テール。……ベッド
- 12 不安を静めます。ヒーリング
- 14 ……業は日本の基幹産業
- 15 吐き出す息
- 16 毛の色がまだらな……猫
- 18 相撲の行司が持っています
- 20 古代マヤ文明が繁栄した国
- 22 正月の松飾りがある期間
- 24 素人が集まってする……野球
- 25 昔、年20日働いて暮らせた人
- 27 徹夜とも言います
- 29 つり道具の一つ
- 30 パリは東京の……友好都市

タテのカキ

- 1 内……。心……。肝……
- 2 三日坊主の人もいます
- 3 一遍上人が広めた、踊り……
- 4 商店……。歓楽……。……灯
- 5 水を出したり止めたり
- 6 小地震。ゆりかえし
- 7 正月や節句のごちそう

【パズル解答】1863号の答えは「キドアイラク」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を1/15(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

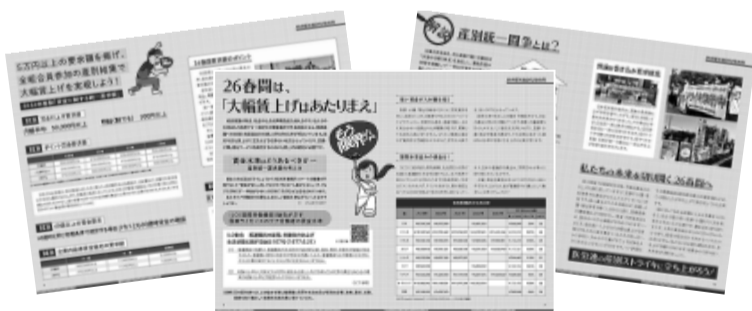
【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: kyosen@irouren.or.jp



Coming Soon!

グッズで春闘盛り上げよう

2026年春闘で大幅賃上げ実現を目指すべく「春闘グッズ」として、春闘ポスター、パンフレット、ワッペンを作成しました。26春闘パンフレットは、賃上げと産別統一闘争に特化した内容に改定しています。春闘にむけて職場でポスターを掲示し雰囲気盛り上げ、パンフレットで学習し、ワッペンを付けて春闘をたたかいぬきましょう。各宣伝物の詳細は日本医労連発第084号をご確認ください。



▲パンフレット

◀ポスター

▼ワッペン



日本医労連は、2025年6月の勤務実績をもとに、医療機関における「夜勤実態調査」に取り組みました。324施設(2472職場・看護職員9万153人・看護要員11万646人)から寄せられた回答からは、依然として過酷な看護現場の実態が明らかになり、記者発表で現場の職員からも改善を訴えました。

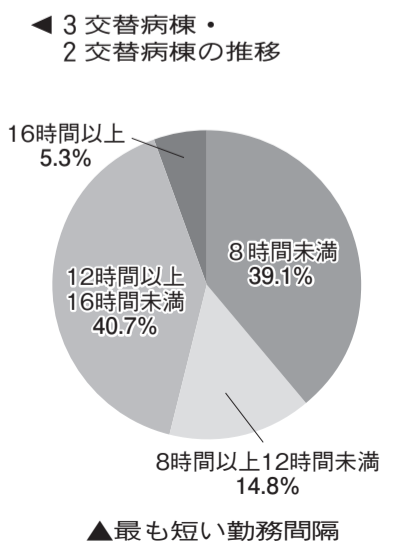
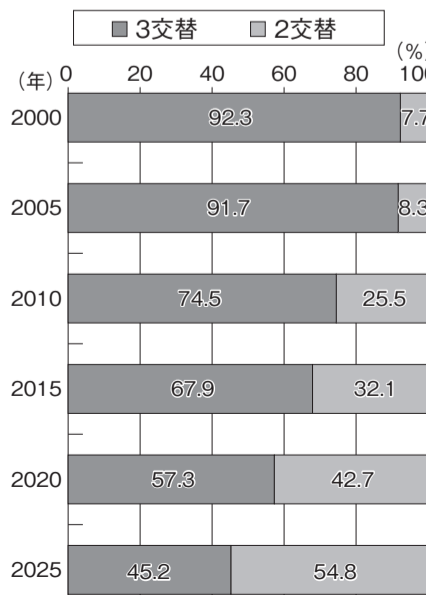
過酷さ増す看護現場

2025年度夜勤実態調査

日本医労連は、12月19日、厚労記者会で「2025年度夜勤実態調査」の記者発表を行いました。記者発表には、佐々木悦子中央執行委員長、松田加寿美書記次長と全医労の岩谷香寿美中央執行委員長、全日赤の五十嵐真理子中央執行委員長と全日赤医療センター第一労組の関原みどり執行委員長が参加し、報道機関からは13社が参加しました。記者発表にあたって佐々木委員長は、「医療提供体制を守るためにも、依然として過酷な看護職員の働き方を早急に改善するべきだ」として、「今回の調査結果を通じて夜勤改善の必要性を広く報道してほしい」と述べました。続いて、調査結果の概要として、松田書記次長より深刻な看護現場の夜勤実態について報告しました。

2交替夜勤最多更新
調査結果からは、2交替夜勤が54・8%と過去最多を更新し、最も短い勤務間隔8時間未満が39・1%など、医労連が目指す労働環境の改善には至っていない過酷な職場実態が明らかになりました。また夜勤専門看護師が配置されている病棟が18・7%と2018年度調査と比較して10%増加しています。松田書記次長は、夜勤人員の不足が続く中で夜勤専門看護師に頼らなければ夜勤体制維持が困難な状況にあるとして改善を訴えました。

大幅増員は必須
各組織からの発言として全医労は、国立病院機構が看護師を募集しても人が集まらず、定員割れの状況が続いていることやミックス夜勤など不規則な勤務が増加しているとして、「働き方をかえるために大幅増員が必要だ」と訴えました。全日赤からは、夜勤体制を維持するために、育短者でも土日に夜勤に入らざるを得ず、家族の時間を奪うかのような働き方をさせられていると告発しました。また関原さんは、過酷な16時間夜勤の状況や疲れ切つて辞めていく仲間が年々増加していることなどを訴え、安全・安心の医療のためにも処遇改善と大幅増員を強く求めたいと発言しました。



新春インタビュー



認定NPO法人 Dialogue for People
副代表／フォトジャーナリスト

安田 菜津紀さん

やすだ なつき 東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書は『遺骨と祈り』（産業編集センター、2025年）

人間の尊厳を守る力に

2024年12月から翌1月にかけてパレスチナを取材しました。70年以上もの不条理な占領が続く中で、「今が一番つらい。パレスチナ人を殺すことが、こんなにも軽くなつてしまった」という嘆きと怒りの声を何度も聞きました。

24年11月にたこ揚げをしました。ガザに住む友人のアマルさんがその映像を見て、「ありがとう。私たちのことをまだ気にかけてくれる人がいるんだね」と返信したのです。その言葉はとても重い。世界の関心が遠のいていくから、虐殺が止まらないと感じざるを得ません。

遠いからじゃなく、近いから

同時に日本政府に対する厳しい批判も受けました。防衛省がイスラエル製の軍事用ドローンを購入しようとしています。イスラエルの兵器が、ガザなどへの攻撃で性能を実証され市場で売り出されてきたのは明白です。それを購入するということ

ガザの停戦の先行きは見通せませんが、あれだけ破壊の限りを尽くされた街が人の住める環境に戻るのには困難を極めるでしょう。復旧・復興だけでは十分です。国際法違反の占領と、封鎖を終わらせないと、再び同じことが起きます。

「表現の自由」が残されています。その自由を、国の不条理な暴力によって殺された死者たちと向き合いたい、人間の尊厳を守る力に変えていかなければなりません。そのために私は伝えることでその意思を体現していきたい。そして、さまざまな立場の人たちが少しずつ役割を持ち寄ること、大きな力にしていきたい。

医療の眼

コロナ禍から6年経ち、私たちは国民の命と健康を守る為、自らを犠牲にしながら患者・利用者へと向き合ってきました。世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、慢性的な人員不足の私たちの職場にも襲ってきて、命の選択を迫られる医療崩壊・介護崩壊を経験しました。

3. 12医労連産別統一ストライキに立ち上がろう

金維持どころか賃金カットされているのが実態です。病床が余っている、診療所は儲かっているなど国は言いますが、ケア労働者の賃金を削って経営を成り立たせているのが現状です。こうした現状を打開すべく私たちは声を上げ続け、国や歴代政権に「ケア労働者の賃上げが必要」と言わせてきました。不十分な内容ながらもベア評価料を勝ち取り、水準は低いままでしたが、職種限定を解消させるなど、私たちが声を上げ続けてきた運動の成果です。

25春闘では23・24春闘を上回るストを配置して立ち上がりました。産別に結集して医労連の姿が見えるストライキ可視化の運動を全国で一斉に展開することで、国の政策に影響を与える成果を勝ち取ってました。私たちの要求を可視化する運動により、未組織の労働組合や労働者の目に留まり「医労連に加盟したい」「組合を作りたい」「ストに参加したい」などの声

世界で「ケア労働者の奮闘に見合う大幅賃上げ」が実施されるなか、日本だけが今なお、ケア労働者の犠牲のもとで成り立つ医療・介護から脱することができないままです。さらには物価高騰により賃金が上がらない日本でも他産業では賃上げが実施されるなか、私たちがケア労働者の賃金だけが上がらない状況が続いています。

新政権の誕生で注視すべきは私たちが真逆の道へ突き進むようとしていることです。新首相による、2020年代の早いうちに最賃を全国平均1500円という政府目標を後退させる発言、「働いて働いて働いて働いて働いて働いて働いて」と自らワークライフバランスを投げ捨てる発言は、過労死遺族にムチ打つだけでなく労基法解体へ突き進む「軍事国債」補正に2796億円積むなど、国民の命を奪う・労働者切り捨ての憲法改悪・軍事路線へ大きく舵を切っています。軍事では人を救えない、平和なくして安全・安心の医療・介護はない。過去の過ちを繰り返そうとする政治に対し

して沈黙を通すのか、それとも声を上げ続けるのか、いま問われています。医労連の姿が見える運動を

年末一時金の回答を見ても、月数で昨年実績以上の回答があったのは3割程の組合でそのうち4割程がコロナ前実績を取り戻せていません。同様に昨年実績維持の組合は4・5割程でそのうち2割程はコロナ前よりマイナス。昨年実績を下回った2・5割程の組合のうち、6・5割程の組合がコロナ前実績と比べてマイナスのままであり、賃

26春闘では引き続き職場に足を運び、組合員が抱える日頃の悩みや不満に寄り添うなど、話を聞くことから始めましょう。職場の譲れない要求、譲れないスト回避基準などみんなで話し合うことで、組合員一人ひとりが団結できる要求を練り上げましょう。3・11はストを構え団交を行い、3・12は全ての組合が「医労連産別統一ストライキ」に立ち上がり声を上げ大幅賃上げの道を切り開きましょう。油石博敬